

## 技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-55:2017

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-55 部：水槽用及び庭池用電気機器の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第二条 第1項	安全原則	電気用品は、通常の使用状態において、人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないよう設計されるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 4	箇条 4 一般要求事項（JIS C 9335-1（以下、第1部）の規定による。） 機器は、通常使用時に起こりやすい不注意があっても、人体及び／又は周囲に危害をもたらさないように安全に機能する構造でなければならない。	
第二条 第2項	安全原則	電気用品は、当該電気用品の安全性を確保するために、形状が正しく設計され、組立てが良好で、かつ、動作が円滑であるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 22 22.101  箇条 25 25.5	第1部の第二条第2項に該当する規定によるほか、次による。 箇条 22 構造 22.101 水の上方で固定することを意図する IPX7 未満の機器は、支持物に確実に固定するような構造でなければならない。 箇条 25 電源接続及び外部可とうコード 25.5 電源コードは、次のいずれかによって機器に取り付けなければならない。 -X 形取付け。ただし、IPX7 及び IPX8 機器を除く -Y 形取付け -Z 形取付け	
第三条 第1項	安全機能を有する設計等	電気用品は、前条の原則を踏まえ、危険な状態の発生を防止するとともに、発生時における被害を軽減する安全機能を有するよう設計されるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 19	箇条 19 異常運転（第1部の規定による。） 機器は、異常運転又は不注意運転によって、火災の危険、及び安全性又は感電に対する保護に影響を及ぼす機械的損傷を、できるだけ未然に防止できる構造でなければなら	

## 技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-55:2017

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-55 部：水槽用及び庭池用電気機器の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
					ない。	
第 三 条 第 2 項	安全機能を有する設計等	電気用品は、前項の規定による措置のみによってはその安全性の確保が困難であると認められるときは、当該電気用品の安全性を確保するために必要な情報及び使用上の注意について、当該電気用品又はこれに付属する取扱説明書等への表示又は記載がされるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 7  7.1  7.12          7.12.1	第 1 部の第三条第 2 項に該当する規定によるほか、次による。  箇条 7 表示、及び取扱説明又は据付説明  7.1 水中での使用を意図する機器は、最大動作深度が 1m を超える場合、最大動作深度を表示しなければならない。  7.12 取扱説明書には、次のことを記載しなければならない。  ー水中での使用を意図しない機器に対する注意事項 ー水の上方での使用を意図しない機器は、機器が自然落下したときに水中に落ちない位置に配置する旨 ー水中に完全に浸せきさせることを意図する機器は、最大動作深度 ーメンテナンスを行う前に、水槽又は池の中にある全ての機器のプラグを抜くか、又は電源スイッチを切らなければならない旨 ー水中での使用を意図する観賞魚用ヒータが保護カバーをもつ場合は、保護カバーの取扱い  7.12.1 据付説明書には、次のことを記載しなければならない。  ー水の上方で用いることを意図する IPX7 未満の機器は、	

## 技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-55:2017

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-55 部：水槽用及び庭池用電気機器の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第三条 第2項 続き					固定方法 一屋外での使用を意図する機器は、機器の電源を 30 mA 以下の定格感度電流をもつ漏電遮断器を通して供給する旨	
第四条	供用期間中における安全機能の維持	電気用品は、当該電気用品に通常想定される供用期間中、安全機能が維持される構造であるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 22 22.16  箇条 23 23.3  箇条 25 25.14  箇条 31	箇条 22 構造 22.16 自動式巻取り機構は、耐久試験の結果、異常を生じてはならない。(第 1 部の規定による。) 箇条 23 内部配線 23.3 内部配線は、折曲げ試験の結果、異常を生じてはならない。(第 1 部の規定による。) 箇条 25 電源接続及び外部可とうコード 25.14 シースなしの平形電源コードは、折曲げ試験の結果、異常を生じてはならない。(第 1 部の規定による。) 箇条 31 耐腐食性 (第 1 部の規定による。) 腐食によって機器がこの規格に適合しなくなるおそれがある鉄製の部分は、防腐食対策を十分に施さなければならない。	
第五条	使用者及び使用場所を考慮した安全設計	電気用品は、想定される使用者及び使用される場所を考慮し、人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように設計され、及び必要に応じて適切な表示をされ	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 6 6.2	第 1 部の第五条に該当する規定によるほか、次による。 箇条 6 分類 6.2 水中での使用を意図する機器は、IPX8 でなければならない。水の上方での使用を意図する機器であって固定する	

## 技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-55:2017

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-55 部：水槽用及び庭池用電気機器の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第五条 続き		ているものとする。			ことを意図しない機器は、IPX7 以上でなければならない。 その他の機器は、IPX4 以上でなければならない。	
第六条	耐熱性等を有する部品及び材料の使用	電気用品には、当該電気用品に通常想定される使用環境に応じた適切な耐熱性、絶縁性等を有する部品及び材料が使用されるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 25  25.7	第 1 部の第六条に該当する規定によるほか、次による。 箇条 25 電源接続及び外部可とうコード 25.7 屋外用機器の電源コードは、ポリクロロブレン被覆コードで、かつ、オーディナリークロロブレン又はその他の合成エラストマーシース付きコードと同等以上の特性でなければならない。	
第七 条 第 1 号	感電に対する保護	電気用品には、使用場所の状況及び電圧に応じ、感電のおそれがないように、次に掲げる措置が講じられるものとする。 一 危険な充電部への人の接触を防ぐとともに、必要に応じて、接近に対しても適切に保護すること。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 8  箇条 22  箇条 25 25.22  箇条 26	箇条 8 充電部への接近に対する保護（第 1 部の規定による。） 箇条 22 構造（第 1 部の規定による。） 充電部が、可触金属部に接触するおそれがない構造でなければならない。 箇条 25 電源接続及び外部可とうコード 25.22 機器用インレットは、コネクタの挿入及び取外しの間、充電部に触れないような構造でなければならない。（第 1 部の規定による。） 箇条 26 外部導体用端子（第 1 部の規定による。） 端子は、外郭のカバー又は一部を取り外さないと触れることができないものでなければならない。	

## 技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-55:2017

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-55 部：水槽用及び庭池用電気機器の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第七條 第2号	感電に対する保護	二 接触電流は、人体に影響を及ぼさないように抑制されていること。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 21 21.103	第1部の第七條第2号に該当する規定によるほか、次による。 箇条 21 機械的強度 21.103 水中での使用を意図する、クラス 0 機器、クラス 0I 機器及びクラス II 機器を、約 1%の食塩を含む水に浸せきさせて運転したとき、漏えい電流は 3 mA 以下でなければならない。	
第八條	絶縁性能の保持	電気用品は、通常の使用状態において受けるおそれがある内外からの作用を考慮し、かつ、使用場所の状況に応じ、絶縁性能が保たれるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 19 19.101  箇条 21 21.101  21.102	第1部の第八條に該当する規定によるほか、次による。 箇条 19 異常運転 19.101 気泡発生器は、バルブを一つずつ及び全ての組合せで作動不能の状態に運転したとき、電気部品を配置する部分に水が浸入してはならない。 箇条 21 機械的強度 21.101 水中での使用を意図する気泡発生器は、機器の最大動作深度又は深さ 1m のいずれか深い方まで水中に浸せきさせて運転したとき、電気部品を配置する部分に水が浸入してはならない。 21.102 水中で垂直に設置することを意図するガラス製外郭をもつヒータは、垂直の姿勢でガラス製外郭の長さの半分が露出する状態で運転したとき、電気部品を配置する部分に水が浸入してはならない。	

## 技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-55:2017

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-55 部：水槽用及び庭池用電気機器の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第八条 続き				21.102A	21.102A 水中での使用を意図するヒータを水槽から容易に取り出すことができる場合には、空气中において定格電圧を連続して 30 分間加え、その後、ヒータを 10℃±2℃の水に浸せきさせたとき、電気部品を配置した部分に水が浸入してはならない。	
第九条	火災の危険源からの保護	電気用品には、発火によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように、発火する温度に達しない構造の採用、難燃性の部品及び材料の使用その他の措置が講じられるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 22 22.102A  附属書 JAA JAA.3	第 1 部の第九条に該当する規定によるほか、次による。 箇条 22 構造 22.101A 水中での使用を意図する観賞魚用ヒータが保護カバーをもつ場合、保護カバーは次の要求を満たさなければならない。 ー保護カバーの開口部に試験棒を用いて 30 N の力を加えたとき、試験棒は発熱部に接触してはならない ー保護カバーに樹脂を用いる場合は、垂直燃焼試験において、V-0 の判定基準に適合しなければならない 附属書 JAA 観賞魚用ヒータの試験方法及び判定基準 JAA.3 判定基準 a) 空气中でのヒータ温度上昇試験において、次に適合しなければならない。 ー保護カバーをもつ場合、保護カバーの外郭表面の温度は 400℃以下であること。保護カバーが溶解したときは、溶解によってできた開口部から試験棒を用い	

## 技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-55:2017

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-55 部：水槽用及び庭池用電気機器の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第九条 続き					<p>て、30 N の力を加えたとき、発熱部に接触してはならない</p> <p>－保護カバーをもたない場合、発熱部の温度は 400℃ 以下であること</p> <p>b) 試験紙発火試験の試験期間において、紙が燃焼してはならない。</p>	
第十条	火傷の防止	電気用品には、通常の使用状態において、人体に危害を及ぼすおそれがある温度とならないこと、発熱部が容易に露出しないこと等の火傷を防止するための設計その他の措置が講じられるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 11	<p>箇条 11 温度上昇（第 1 部の規定による。）</p> <p>通常使用時に継続して手で保持する部分の上限値は、規定する値を超えてはならない。</p>	
第十一 条第 1 項	機械的危険源による危害の防止	電気用品には、それ自身が有する不安定性による転倒、可動部又は鋭利な角への接触等によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように、適切な設計その他の措置が講じられるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 20  20.1  20.2  箇条 22  22.14	<p>箇条 20 安定性及び機械的危険</p> <p>20.1 固定形でなく、かつ、手持形でもない機器で、床上又は卓上で用いる機器は、十分な安定性をもっていなければならない。（第 1 部の規定による。）</p> <p>20.2 機器の運動部は、通常使用時に人体を傷害から適切に保護するように配置されているか、又は外郭で囲っていなければならない。（第 1 部の規定による。）</p> <p>箇条 22 構造</p> <p>22.14 機器には、通常使用時又は使用者による保守の際に危険を及ぼすおそれがある凹凸のある角又は鋭い角があ</p>	

## 技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-55:2017

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-55 部：水槽用及び庭池用電気機器の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第十一 条第1項 続き				22.15  箇条 23 23.1  箇条 25 25.9	<p>ってはならない。(第1部の規定による。)</p> <p>22.15 可とうコード用の巻付けフックその他これに類するものは滑らかでなければならない。(第1部の規定による。)</p> <p>箇条 23 内部配線</p> <p>23.1 配線路は、滑らかでなければならない。(第1部の規定による。)</p> <p>箇条 25 電源接続及び外部可とうコード</p> <p>25.9 電源コードは、機器のとがった部分又はとがった角に接触してはならない。(第1部の規定による。)</p>	
第十一 条第2項	機械的危険源による危害の防止	2 電気用品には、通常起こり得る外部からの機械的作用によって生じる危険源によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように、必要な強度を持つ設計その他の措置が講じられるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 21 21.1	<p>第1部の第十一条第2項に該当する規定によるほか、次による。</p> <p>箇条 21 機械的強度</p> <p>21.1 衝撃試験後、水中での使用を意図する気泡発生器は気泡発生器の浸せき試験を、また、ヒータはヒータの浸せき試験及びヒータの急冷試験を実施したとき、電気部品を配置した部分に水が浸入してはならない。</p>	
第十二 条	化学的危険源による危害又は損傷の防止	電気用品は、当該電気用品に含まれる化学物質が流出し、又は溶出することにより、人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 19    箇条 22	<p>箇条 19 異常運転 (第1部の規定による。)</p> <p>異常運転試験において、危険な量の有毒性のガスが機器から漏れてはならない。</p> <p>箇条 22 構造</p>	



## 技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-55:2017

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-55 部：水槽用及び庭池用電気機器の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第十二 条続き				22.22 22.23 22.41 箇条 32	22.22 機器は、アスベストを含んではならない。（第 1 部の規定による。） 22.23 機器には、PCB を含んだ油を用いてはならない。（第 1 部の規定による。） 22.41 機器は、ランプを除き、水銀を含む部品を組み込んではならない。（第 1 部の規定による。） 箇条 32 放射線、毒性その他これに類する危険性（第 1 部の規定による。）	
第十三 条	電気用品から発せられる電磁波による危害の防止	電気用品は、人体に危害を及ぼすおそれのある電磁波が、外部に発生しないように措置されているものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 32	箇条 32 放射線、毒性その他これに類する危険性（第 1 部の規定による。）	
第十四 条	使用方法を考慮した安全設計	電気用品は、当該電気用品に通常想定される無監視状態での運転においても、人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように設計され、及び必要に応じて適切な表示をされているものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 19 19.7 19.9 箇条 22	箇条 19 異常運転 19.7 人がついていない状態で運転する機器は、拘束試験において、巻線の温度が規定する値を超えてはならない。（第 1 部の規定による。） 19.9 遠隔制御若しくは自動制御によって運転するモータをもつ機器、又は連続運転を行う可能性がある機器には、過負荷運転試験において、巻線の温度が規定の値を超えてはならない。（第 1 部の規定による。） 箇条 22 構造	

## 技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-55:2017

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-55 部：水槽用及び庭池用電気機器の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第十四 条続き				22.40	22.40 遠隔操作用の機器には、機器の動作を停止させるためのスイッチを取り付けなければならない。(第 1 部の規定による。)	
				22.49	22.49 遠隔操作の場合、運転持続時間を設定しない限り、機器が始動できないようにしなければならない。(第 1 部の規定による。)	
				22.50	22.50 機器内に組み込んだ制御装置がある場合、それが遠隔操作によって操作される制御装置よりも優先されなければならない。(第 1 部の規定による。)	
				22.51	22.51 機器上には、機器が遠隔操作用に調節されていることを示す視覚的表示がなければならない。(第 1 部の規定による。)	
				箇条 30	箇条 30 耐熱性及び耐湿性	
				30.2.3	30.2.3 遠隔操作の機器及び人の注意が行き届かない状態で動作する機器については、非金属材料に燃焼試験を行わなければならない。(第 1 部の規定による。)	
第十五 条第 1 項	始動、再始動及び停止による危害の防止	電気用品は、不意な始動によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 19	箇条 19 異常運転 (第 1 部の規定による。) 異常運転試験において、機器は、危険な誤動作を起こしてはならない。	
第十五 条第 2 項	始動、再始動及び停止による危	電気用品は、動作が中断し、又は停止したときは、再始動によって人体に危害を及ぼし、	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 19	箇条 19 異常運転 (第 1 部の規定による。) 異常運転試験において、機器は、危険な誤動作を起こして	

## 技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-55:2017

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-55 部：水槽用及び庭池用電気機器の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第十五条第2項 続き	害の防止	又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。		箇条 20 20.2  箇条 22 22.10	はならない。 箇条 20 安定性及び機械的危険 20.2 自己復帰形温度過昇防止装置及び過負荷保護装置が何かの拍子に閉状態になった場合に、それが危険を引き起こす引き金となってはならない。(第1部の規定による。) 箇条 22 構造 22.10 機器に内蔵する自動開閉装置の動作によって、電圧維持下の非自己復帰形温度過昇防止装置が復帰してはならない。(第1部の規定による。)	
第十五条第3項	始動、再始動及び停止による危害の防止	電気用品は、不意な動作の停止によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—	—	一般的に、不意な停止によって人体に危害を及ぼし又は物件に損傷を与えるおそれがないため、非該当が妥当と考える。
第十六条	保護協調及び組合せ	電気用品は、当該電気用品を接続する配電系統や組み合わせる他の電気用品を考慮し、異常な電流に対する安全装置が確実に作動するよう安全装置の作動特性を設定すると	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 10	箇条 10 入力及び電流 (第1部の規定による。) 機器に定格入力 (定格電流) が表示されている場合、通常動作温度における入力 (電流) は、許容値を超える差があってはならない。	

## 技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-55:2017

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-55 部：水槽用及び庭池用電気機器の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第十六 条続き		もに、安全装置が作動するまでの間、回路が異常な電流に耐えることができるものとする。		箇条 19  箇条 25 25.8	箇条 19 異常運転（第 1 部の規定による。） 故障状態の下での機器の安全性をヒューズによって確保する場合は、適切なものを選ばなければならない。 箇条 25 電源接続及び外部可とうコード 25.8 電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈の別表第一に適合したコード以外の電源コードの導体は、規定する値以上の公称断面積をもつものでなければならない。（第 1 部の規定による。）	
第十七 条	電磁的妨害に対する耐性	電気用品は、電氣的、磁氣的又は電磁的妨害により、安全機能に障害が生じることを防止する構造であるものとする。	■該当 □非該当	箇条 19 19.11  19.11.4  箇条 29	箇条 19 異常運転（第 1 部の規定による。） 19.11 回路全体又は回路の一部について、電子部品における任意の 2 端子間の短絡や集積回路の故障等の単一故障状態を起こした場合であっても、炎、熔融金属又は危険な量の有毒性若しくは可燃性ガスが機器から漏れず、かつ、温度上昇は規定の値を超えてはならない。 19.11.4 電子的スイッチを持つ機器には、規定するイミュニティ試験を実施しなければならない。 箇条 29 空間距離、沿面距離及び固体絶縁（第 1 部の規定による。） 機器は、受ける可能性がある電氣的ストレスに耐えるのに適した空間距離を持つ構造でなければならない。	

## 技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-55:2017

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-55 部：水槽用及び庭池用電気機器の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第十八条	雑音の強さ	電気用品は、通常の使用状態において、放送受信及び電気通信の機能に障害を及ぼす雑音を発生するおそれがないものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	—	—	J55014-1 等の規格を適用する。
第十九条	表示等（一般）	電気用品は、安全上必要な情報及び使用上の注意（家庭用品品質表示法（昭和三十七年法律第百四号）によるものを除く。）を、見やすい箇所に容易に消えない方法で表示されるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 7  7.14	箇条 7 表示、及び取扱説明及び据付説明  7.14 表示は、容易に判読でき、かつ、耐久性があるものでなければならない。（第 1 部の規定による。）	
第二十条第 1 項	表示等（長期使用製品安全表示制度による表示）	次の各号に掲げる製品の表示は、前条の規定によるほか、当該各号に定めるところによる。 一 扇風機及び換気扇（産業用のもの又は電気乾燥機（電熱装置を有する浴室用のものに限る、毛髪乾燥機を除く。）の機能を兼ねる換気扇を除く。） 機器本体の見やすい箇所に、明瞭に判読でき、かつ、容易に消えない方法で、次に掲げる事項を表示すること。 (イ) 製造年 (ロ) 設計上の標準使用期間（消費生活用製品安全法（昭和四十八年法律第三十一号）第三十二条の三第一項第一号に規定する設計	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—	—	—
第二十						

## 技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-55:2017

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-55 部：水槽用及び庭池用電気機器の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
条第1項 続き		標準使用期間をいう。以下同じ。） (ハ) 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがある旨				
第二十条第2項	表示等（長期使用製品安全表示制度による表示）	二 電気冷房機（産業用のものを除く。）機器本体の見やすい箇所に、明瞭に判読でき、かつ、容易に消えない方法で、次に掲げる事項を表示すること。 (イ) 製造年 (ロ) 設計上の標準使用期間 (ハ) 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがある旨	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—	—	—
第二十条第3項	表示等（長期使用製品安全表示制度による表示）	三 電気洗濯機（産業用のもの及び乾燥装置を有するものを除く。）及び電気脱水機（電気洗濯機と一体となっているものに限り、産業用のものを除く。）機器本体の見やすい箇所に、明瞭に判読でき、かつ、容易に消えない方法で、次に掲げる事項を表示すること。 (イ) 製造年 (ロ) 設計上の標準使用期間	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—	—	—
第二十						

## 技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-55:2017

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-55 部：水槽用及び庭池用電気機器の個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
条第3項 続き		(ハ) 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがある旨				
第二十 条第4項	表示等（長期使用製品安全表示制度による表示）	<p>四 テレビジョン受信機（ブラウン管のものに限り、産業用のものを除く。）機器本体の見やすい箇所に、明瞭に判読でき、かつ、容易に消えない方法で、次に掲げる事項を表示すること。</p> <p>(イ) 製造年</p> <p>(ロ) 設計上の標準使用期間</p> <p>(ハ) 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがある旨</p>	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—	—	—